



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 木幡 智清
幹事 星 行夫
SAA 高萩 勝利
会報小委員長 今泉 敏徳

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2806 回 例会 令和 2 年 2 月 19 日 (水・晴)

2019 - 20 年国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

ゲスト
第 2590 地区
横浜川崎幸ロータリークラブ 毛利尚方様

ロータリーソング 我等の生業
- 今月は平和と紛争予防 /
紛争解決月間です -
ロータリーの目行動規範
鈴木 正人 会員



◎会長報告 - 木幡智清会長

皆さん、こんにちは。まず、本日のお客様をご紹介致します。第 2590 地区川崎幸ロータリークラブの毛利尚方様がいらっしゃっています。後程ご挨拶をいただきたいと思ひます。また、2月7日に皆様からいただいた浄財をなこそ授産所の高村理事長へ私と星幹事でお渡し致しました。御礼状が届いておりますので間違い無くお渡し致しました。それと、2月15日 I M に参加された会員の方御苦勞様でした。最後に残念なお知らせですが当クラブ第 48 代会長の遠藤嘉一様がお逝去されました。謹んで御冥福をお祈りしたいと思ひます。まだまだ寒暖の差が大きい日が続きます。皆様も十二分に体調管理に注意していただきたいと思ひます。

◎訪問挨拶 第 2590 地区



川崎幸ロータリークラブ
毛利 尚方 様

皆様、こんにちは。私は第 2590 地区横浜川崎地区の川崎幸ロータリークラブのメンバーです。第 2590 地区は現在 52 クラブあり、私は隣の北茨城に組立工場がありよく来ております。私は川崎幸ロータリークラブが設立され 1 カ月目に入会し、現在ロータリアン歴 47 年です。また、北茨城に来る時にはお邪魔したいと思ひますので宜しくお願いします。

◎幹事報告 - 星 行夫幹事

・只今回覧中の物ですが、ロータリーよりザ・ロー

タリアン、国際ロータリーより第 40 回ライラ研修会参加のご案内、全国インターアクト研究会開催のご案内が届いています。

- ・米山記念奨学会から「ハイライト米山」が届いています。
- ・週報がいわき平ロータリークラブ、東京江戸川ロータリークラブから届いています。
- ・いわき桜ロータリークラブの遠藤希和子様からポールハリスの肉声を聞く集いのご案内がきています。
- ・なこそ授産所より御礼状が届いています。
- ・次週 2 月 26 日は休会ですので宜しくお願いします。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 佐藤政司小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。また、出席奨励賞をお渡し致しますので名前を呼ばれた方は前の方へどうぞ。清水会員、丹野会員おめでとうございます。



◇スマイルボックス委員会 - 鈴木秀夫小委員長

- ・本日メーキャップに参りました。川崎幸ロータリークラブ毛利尚方様。
- ・歓迎！第 2590 地区川崎幸ロータリークラブ毛利尚方様の来訪を歓迎して。富澤、鈴木(秀)、富岡、渡邊(貴)、清水、鈴木、高萩、生駒、荒川(義)、

出席状況	正会員数	50 名	カード出席	3 名
	本日出席会員数	32 名	本日の修正出席率	72.92%

赤津(善)、荒川(清)、木村(義)、川口、洪佐、久野、影山、櫛田、今泉各会員及び木幡会長、嵐副会長、星幹事、細田副幹事
・出席奨励賞ありがとうございました。

丹野、清水各会員

・本日早退ごめんなさい。

鈴木(雅)、佐藤(政)、小澤各会員

・前回休んでごめんなさい。

大平会員

◎会員卓話 - 木村義英会員

「海外への挑戦」

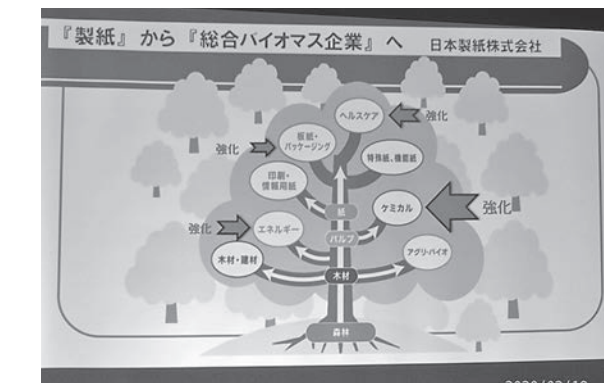
(日本製紙の取り組み)



皆さん、こんにちは。日本製紙の木村です。本日は国際奉仕委員会からお話があり、卓話をさせていただきます。今、製紙会社が何をやっているのかご紹介したいと思います。出来るだけ写真を使って説明致しますので宜しくお願いします。まず、自己紹介をしますと私は昭和 34 年生まれで今年 60 歳になります。昭和 57 年に大学を卒業し、当時十條製紙今の日本製紙に入社しました。配属先は中央研究所でそこで 20 年勤務致しました。平成 19 年から工場へ出て宮城県岩沼工場、そして北海道の釧路工場、ここに来る前はフィンランドの十條サーマルという所に 3 年間勤務しました。平成 29 年からこちらのいわき勿来ロータリークラブにお世話になっています。勿来ロータリークラブさんには歴代工場長がお世話になっており改めて御礼申し上げます。それでは製紙会社の説明に入りますが、製紙会社は何をやっているかという製紙業から総合バイオマス企業へ形を変えようと各社が動いています。製紙会社は基本的に資源循環型の産業です。2 つの再生

可能な資源を利用するということになります。1 つは、木を植えて育てて切って利用する。

そしてまた植えて育て切って利用することで循環することが出来ます。木を育てる過程で今問題になってい



海外拠点の目的

- ・原料調達 (植林など)
- ・日本からの輸出 ⇒ 現地生産 海外拠点からの輸出
- ・海外で生産して日本で使用

2020/02

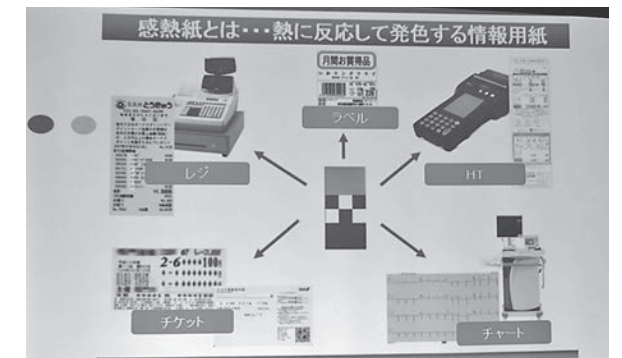
国境と文化の壁を越えて-① 植林事業

- ・国内外で 18 万ヘクタールの森林を管理
- ・国内最大の木質バイオマス調達力

約 3,200 万の CO2 を固定

日本 9.0 万 ha
南アフリカ 1.1 万 ha
チリ 1.3 万 ha
オーストラリア 1.5 万 ha

2020/02/19



製紙会社は植林以外でも CO2 を固定しています

酸性紙
タルクを使う

中性紙
炭酸カルシウムを使う

↑ 自然由来

生石灰と CO2 (二酸化炭素) で作れる

↓

日本に豊富な資源 物を造らずに出る

2020/02/19

国境と文化の壁を越えて

- ・フィンランド人は
 - 優秀な人間は転職(ステップアップ)
 - まず自分、次に家族、仕事はその上で、
 - (自分の人生や家族より会社が大事?)
 - (仕事への責任感がない?)
 - 安全は個人の問題
 - 給料は業績次第
 - 職からなければ従業員は解雇
- ・日本人は
 - 基本は終身雇用
 - 仕事には責任、個人的なことは後、
 - (自分の人生や家族より会社が大事?)
 - 安全には管理責任が重要
 - 給料は業績次第
 - 企業には雇用を守る責任

2020/02/19